



旅行に関する支出



- 家計調査（二人以上世帯）結果より -

今年の9月は、平成21年以来6年ぶりとなる秋の大型連休「シルバーウィーク」があります。9月19日（土）から23日（水）まで5連休となり、旅行などを計画されているご家庭も多いのではないのでしょうか。

そこで、今月は旅行に関する支出（以下、旅行関係費 という）について、家計調査の結果から見てみましょう。

ここでは、「パック旅行費」、「宿泊料」、「一般外食」、運賃や高速道路料金などの「交通」、「ガソリン」及び「入場・観覧・ゲーム代」の計をいいます。

近年増加傾向にある旅行関係費

最初に、1世帯当たりの旅行関係費への年間支出金額について、平成16年から26年までの推移を見てみましょう。旅行関係費は、平成20年は399,122円でしたが、リーマン・ショックの影響もあって、21年（363,969円）に大きく減少し、また、23年には東日本大震災が起きたことから、さらに減少しました。しかし、その後は増加し、平成25年には391,128円となり、消費支出に占める割合も11.2%と20年と同水準まで回復し、26年もほぼ同様の結果となっています（図）。

図 旅行関係費への年間支出金額及び消費支出全体に占める割合の推移
（平成16～26年）

